

～感染は減少傾向にあります～

北海道は3月7日までを集中対策期間として、もう一段感染を抑え込むとして対策にあたり、その効果もあつたのか道内の新規感染者は減少傾向にあります。これは大変喜ばしいことではありますが、一方で病院や施設等での感染のニュースは依然として後を絶たず、当施設としても引き続き気を引き締めて対策を続ける必要があると感じています。

例年、3～4月は人事異動や入社、入学等に伴う人の移動が多い時期です。また、感染者が減少傾向にあることで、外出している人も多いように感じます。これから徐々に暖かくなり、良い季節を迎えますが、感染対策に充分留意して過ごしていきたいと思えます。

3月の行事予定

※ 3月の行事も2月同様中止と致します。誕生会等のユニット行事は行いたいと考えております。

3月の誕生者のご紹介



皆さん誕生日おめでとうございます。



昭和5年3月5日生まれ

91歳 すいせんユニット

大正13年3月6日生まれ

97歳 ゆりユニット

大正10年3月19日生まれ

100歳 ゆりユニット

大正8年3月30日生まれ

102歳 さくらユニット

「紙面の写真・氏名についてはご本人（代理人）の方の同意を得て掲載しています」

(電話番号) 0135-71-2580 (メールアドレス) info@minorinosato.net

(ホームページ) <http://minorinosato.net>

(苦情・相談窓口担当者) 生活相談員 寺田 翔

～ユニットの様子について～

2月は誕生日の方が多く、誕生会が開かれたり、にぎやかな様子でした。何をするにしてもまずは感染対策をして、となりますので不自由さはあると思いますが、楽しめる機会を多く提供していきたいと考えています。



～感染対策の状況について～

先日、岩内保健所の担当者から助言をいただく機会があり、それを基にさらなる対策や施設の体制の再確認・整理を行っているところです。

保健所の方の話の中で、胆振管内でクラスターになった施設の事例について説明がありました。当施設と同規模の施設で、最初数名の発熱があったものが、4日後にはほぼ全員が感染し、最終的には入居者2名、職員1名のみが陰性で、あとは全て感染してしまったとのことでした。

施設で感染者が発生した場合、感染の拡がりが高く、一気に感染すると病院での対応が難しく、また、元々の病床の問題(感染対応の病床に限りがあるなど)や認知症・行動障害があると入院治療が困難であるなどの理由から、入院せずに施設で対応することになるとのことで、事例の施設も施設内で陽性者を見ていくことになったそうです。

施設の現在の対策についてのチェックも受けたのですが、やはり人と人との接触の機会や物の共有等をできるだけ避けることが感染リスクを減らすことになるとのことで、外部の人の出入りをなるべくなくし、職員の行動にも制限をかけていくことが必要で、面会中止は継続せざるを得ないと判断しました。

冒頭で述べましたとおり、現在、感染対策に係る施設の体制の再確認・整理を行っているところです。これまでも新型コロナウイルス感染を発生させないよう、日頃から感染対策を徹底して行うとともに、ご家族の皆様にも面会制限などにご協力いただき、対応に当たってまいりましたが、感染が発生しないことを主眼に対策を行い、感染が発生してしまった場合も感染者が入院するまでの間、感染を拡大させないような対策を考えてきました。しかし、この度の保健所の話で、コロナウイルス感染が発生したとしても、入院して治療するという認識を捨てて、施設で過ごされる方の介護とでき得る医療を提供するという心構えを持たなければならないことがわかりましたので、施設で何ができて何ができないのかなどを整理し、近くお知らせしたいと考えております。

道内の感染が減少傾向にあり、不透明な部分はありますが4月から高齢者へのワクチン接種が開始される予定であるなど、わずかながら良い兆候のニュースも聞かれるようになりました。ここで気を緩めず、乗り切っていきたいと思っております。

※ ワクチン接種に対する具体的な日時・方法等は現在のところ示されておりません。2月24日に高齢者の接種は4月12日から開始との報道がありましたが、ワクチンの確保等依然として不透明な部分が多い状況です。接種の希望の有無等の確認もあると思いますので、何かあればお知らせ致します。